

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、22～26℃台を示し、やや低い～かなり低い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の44%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり2kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり245kgの水揚げで、前週の5倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり50kgの水揚げで、前週の67%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.7トンの水揚げで、前週の1.8倍（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、マアジなどが1日1統当たり394kgの水揚げ。北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり4.5トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり282kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり457kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり233kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年並み）。北松小値賀地区では、イサキが1日1統当たり38kgの水揚げで、前週の79%（前年並み）。野母地区では、マアジが1日1統当たり14kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/10日～7/12日の3日間）沖合イカ釣り船、船凍船は、全船が出漁（日付変更線付近及積丹沖～武蔵堆付近に出漁船有り）。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～佐渡～山形沖～青森沖にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 2日延2隻、総計38箱、1航海最高19箱、平均19箱、スルメイカ（25入）19箱、ケンサキイカ（3立～5立）19箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ

「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>